



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月28日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL https://www.keyware.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,404	△2.7	44	—	177	74.5	123	6.0
2020年3月期第3四半期	12,753	5.4	3	201.2	101	11.1	116	80.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 150百万円(17.6%) 2020年3月期第3四半期 127百万円(172.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	17.23	—
2020年3月期第3四半期	14.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,342	5,360	57.4
2020年3月期	9,269	6,330	68.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,360百万円 2020年3月期 6,330百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	3.1	450	3.7	500	△7.6	400	15.1	56.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	9,110,000株	2020年3月期	9,110,000株
2021年3月期3Q	2,280,031株	2020年3月期	895,031株
2021年3月期3Q	7,187,551株	2020年3月期3Q	8,343,510株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて社会経済活動が制限されるなか、極めて厳しい状況となりました。5月下旬の緊急事態宣言解除後は、各種政策の効果等により持ち直しの動きが見られたものの、冬を迎え感染が再拡大するなど先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年1月に経済産業省が発表した2020年11月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比1.2%減と4ヵ月連続で前年を下回ったほか、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」も前年同月比1.4%減と7ヵ月連続で前年を下回りました。

このような事業環境のなか、当社グループは、「基盤事業\*の拡大と収益向上」「新規事業の創出・育成」「社員の成長と活躍を推進」を主要方針として取り組みを進めております。基盤事業においては、顧客のデジタルトランスフォーメーション実現や基幹システム刷新に向けた需要を取り込むべく体制を強化するとともに、競争力や生産性向上に向けて新たなソリューション開発に取り組みました。一方で、新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けた一部既存顧客から受注の延期・規模縮小等が発生したことから、既存顧客の深耕や既存案件の拡大など新規案件の獲得を進めたほか、販売費及び一般管理費の抑制に取り組みました。また、新事業の育成に向けた取り組みを継続するとともに、社員の成長と活躍を支援するための働き方改革や健康経営にも取り組みました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けては、テレワークやリモート会議などを推進するとともに、リモート環境においても社員が活躍し働きやすいよう、業務ルールの見直しや環境整備を進めました。

※ 当社グループの売上高の大部分を占めるシステム開発事業とSI事業を基盤事業と位置付けております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は13,220百万円(前年同期比133百万円減、1.0%減)、売上高は12,404百万円(同349百万円減、2.7%減)となりました。損益面につきましては、一部顧客での案件規模縮小等により売上減となったものの、効率化を推進し費用削減に努めた結果、営業利益は44百万円(同41百万円増)となり、営業外収益として持分法による投資利益112百万円を計上したことなどにより、経常利益は177百万円(同75百万円増、74.5%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税等を計上した結果、123百万円(同7百万円増、6.0%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

受注高は8,274百万円(前年同期比341百万円減、4.0%減)、売上高は7,967百万円(同62百万円増、0.8%増)、営業利益は257百万円(同214百万円増、497.1%増)となりました。

受注高につきましては、前期において大型案件の獲得があった運輸系が反動減となったものの、官庁系での既存案件の拡大や公共系、宇宙系の案件獲得など、堅調に推移した事業領域もありました。しかしながら、当社グループにおいても、一部の子会社において新型コロナウイルス感染症の影響を払拭しきれず、結果としてシステム開発事業全体の受注高は前期比で減少となりました。売上高につきましては、一部案件においてリリース時期が延期されるなどの影響があったものの、前述の官庁系の既存案件拡大に加え、運輸系において前期に受注した大型案件の開発が進んだことなどにより、前期比で増加いたしました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、前期比で大幅な増益となりました。

#### ② S I 事業

受注高は3,562百万円(前年同期比104百万円減、2.9%減)、売上高は3,091百万円(同660百万円減、17.6%減)、営業損失は144百万円(前年同期は50百万円の利益)となりました。

受注高につきましては、基幹系システム刷新の大型案件、ERP系の新規案件などの獲得がありましたが、一方で、流通系案件、ホテル向け案件などでは新型コロナウイルス感染症の影響により受注規模の縮小が生じており、SI事業全体では前期比で減少となりました。売上高につきましては、前期にあったERP系の大型開発案件が収束したことなどにより、前期比で減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少に加え不採算プロジェクトの発生などが影響し、損失計上となりました。

③ その他事業

受注高は1,383百万円(前年同期比313百万円増、29.2%増)、売上高は1,345百万円(同248百万円増、22.6%増)、営業損失は58百万円(前年同期は72百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、サポートサービス系、新事業が堅調に推移したことなどにより、前期比で増加いたしました。損益面につきましては、サポートサービス系において収益性が低下したものの、新事業での売上高の増加などにより、前期比で損失が縮小いたしました。

なお、期初に行った組織改編において、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属しておりました金融系が保持する技術・開発ノウハウを、顧客・業種の需要に応じて再編・集約することとし、この結果、その一部を「S I事業」に移管することといたしました。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第3四半期連結累計期間の表示に合わせて組替えを行っており、前年同期比につきましては組替え後の数値によっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、6,266百万円(前連結会計年度末比10百万円減、0.2%減)となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,075百万円(前連結会計年度末比83百万円増、2.8%増)となりました。主な変動要因は、投資有価証券の増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、3,767百万円(前連結会計年度末比1,066百万円増、39.5%増)となりました。主な変動要因は、短期借入金の増加、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、214百万円(前連結会計年度末比24百万円減、10.2%減)となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少、繰延税金負債の増加であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,360百万円(前連結会計年度末比969百万円減、15.3%減)となりました。主な変動要因は、自己株式の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2020年5月15日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性としまして検収が第4四半期に集中する傾向があるため、第3四半期連結累計期間の売上高および損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、第1四半期連結累計期間に生じておりました検収手続き等の遅れは、第2四半期連結会計期間末までにはほぼ解消されたものの、一部の顧客においては、案件の規模縮小や受注延期などの影響が生じております。しかしながら、当社グループでは、このような状況下においても社員が活躍し働きやすいよう、各種業務ルールの見直しや環境整備を推進するとともに、費用削減等の経営効率化にも積極的に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績に与える影響は、売上高は前期比で減少となったものの、損益面につきましてはほぼ払拭されたものと判断しております。

また、当社グループを取り巻く環境につきましても、前述の通り一部の顧客において案件規模の縮小や受注の延期などIT投資を抑制する動きも見られますが、各企業においては、新型コロナウイルス感染症対応により浮き彫

りとなった課題に対する施策としてのシステム化対応、デジタルトランスフォーメーションの推進や老朽化した基幹業務システムの刷新など、IT投資に対する意欲は底堅く推移するものと見込んでおります。

当社グループとしましては、更なる生産性向上と効率化を推進し、引き続き費用削減に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の影響が比較的小さい官庁系・公共系などの代替案件獲得にも努めており、当期の損益に与える影響は軽微であるものと見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,218,020	1,249,773
受取手形及び売掛金	4,740,162	3,948,026
商品及び製品	5,850	93,422
仕掛品	179,969	796,303
その他	136,849	201,632
貸倒引当金	△3,513	△22,488
流動資産合計	6,277,338	6,266,670
固定資産		
有形固定資産	99,391	93,997
無形固定資産		
のれん	170,473	154,491
その他	82,549	108,343
無形固定資産合計	253,023	262,835
投資その他の資産		
投資有価証券	2,471,654	2,552,666
その他	174,158	170,472
貸倒引当金	△6,362	△4,391
投資その他の資産合計	2,639,450	2,718,747
固定資産合計	2,991,865	3,075,580
資産合計	9,269,204	9,342,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,213	926,127
短期借入金	-	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	226,664	135,010
未払法人税等	101,881	5,154
賞与引当金	701,755	279,621
受注損失引当金	33,667	38,534
その他	729,159	1,082,872
流動負債合計	2,700,342	3,767,320
固定負債		
長期借入金	93,344	30,000
資産除去債務	110,884	112,419
その他	34,252	71,792
固定負債合計	238,480	214,211
負債合計	2,938,823	3,981,532
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	4,446,817	4,468,631
自己株式	△325,928	△1,343,903
株主資本合計	6,365,363	5,369,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,550	22,126
退職給付に係る調整累計額	△49,532	△30,610
その他の包括利益累計額合計	△34,982	△8,484
純資産合計	6,330,381	5,360,719
負債純資産合計	9,269,204	9,342,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	12,753,998	12,404,670
売上原価	10,858,285	10,600,333
売上総利益	1,895,712	1,804,336
販売費及び一般管理費	1,892,381	1,759,852
営業利益	3,330	44,484
営業外収益		
受取利息	18	11
受取配当金	2,792	2,943
助成金収入	23,166	36,410
持分法による投資利益	84,724	112,017
その他	14,200	10,816
営業外収益合計	124,901	162,198
営業外費用		
支払利息	2,861	9,835
支払手数料	22,529	12,814
その他	1,345	6,940
営業外費用合計	26,736	29,590
経常利益	101,495	177,092
税金等調整前四半期純利益	101,495	177,092
法人税等	△15,293	53,248
四半期純利益	116,788	123,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,788	123,843

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	116,788	123,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,020	7,093
持分法適用会社に対する持分相当額	9,023	19,404
その他の包括利益合計	11,043	26,498
四半期包括利益	127,832	150,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,832	150,341
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月11日付で、テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社が売却した当社株式1,385,000株を自己株式として取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,017,975千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,343,903千円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	7,905,302	3,751,279	1,097,416	12,753,998	—	12,753,998
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	208,576	3,292	155,104	366,973	△366,973	—
計	8,113,878	3,754,572	1,252,521	13,120,971	△366,973	12,753,998
セグメント利益 又は損失(△)	43,104	50,985	△72,275	21,815	△18,484	3,330

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18,484千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	7,967,802	3,091,005	1,345,862	12,404,670	—	12,404,670
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	216,003	800	94,925	311,728	△311,728	—
計	8,183,806	3,091,805	1,440,787	12,716,399	△311,728	12,404,670
セグメント利益 又は損失(△)	257,387	△144,654	△58,829	53,903	△9,419	44,484

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△9,419千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメント変更等に関する事項)

期初に行った組織変更において、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属しておりました金融系が保持する技術・開発ノウハウを、顧客・業種の需要に応じて再編・集約することとし、この結果、その一部を「S I 事業」に移管することといたしました。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第3四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。